



学校教育目標 自ら、そして仲間と、未来をたくましく生きる力を身につける人

【目指す学校の姿】

子どもと大人のやりがいあふれる松本小学校
児童：「仲間と協力 心一つに 次を創る 松本っ子」
保護者：「子どもが自分を発揮できる場」「相談できる場」
教職員：「子どもの成長を支援する場」「語り合える場」
【福井市学校教育方針】学びをつなぐ 未来につなげる

たくましく生きる松本っ子につけたい5つの力

⑤仲間と協働し、感動する力

③自分の考えをもち、伝える力 ④失敗をおそれず、挑戦する力

①自分を知り、信じる力 ②相手を大切に、関わっていく

【R8松本小キーワードは『主体的』『つながる』『次を創る』】
『主体的』 気づく、そして興味をもつ・自分の未来とつなげてみる・
見通しをもつ・粘り強く取り組む・振り返って次につなげる
『つながる』 人をつなぐ・学びをつなぐ・支援と説明でつなぐ
『次を創る』 主体的に、つながりあって、アイデアを形にし
よう。ワクワクを、生み出そう。

重点目標

松本っ子みんなであつなげる仲間作り

- (1) あこがれられる・あこがれる関係づくり
- (2) 「声」であつながりワクワクを生み出す
- (3) 自分作り・人間関係作りのスキルアップ

自分(たち)の考えを、自分(たち)で、発信・実行する児童と教職員

- (1) 「特別活動」「生活・総合」「行事」をつなぎ、児童主体の時間と場に
- (2) 児童主体を可能にするカリキュラムマネジメントのさらなる促進
- (3) 児童・教職員で「自ら学び、仲間とつながる」(研究主題)を果たす

丁寧な支援と丁寧な説明で応える学校

- (1) 「気づき→共有→支援」であつなぐ松本小
- (2) 保護者・地域とともに安全教育の推進
- (3) ワクワク！笑顔をつなぐ大作戦

具体的な取組

(1) 縦割り交流・学年間交流で「心一つに」

あこがれた経験から「自分も、
あこがられる人になりたい」 高学年の姿を見て
「私もあなりたい」

(2) 「声で自己表現」のワクワクを楽しむ！

挨拶・歌声・発表・返事・つぶやき・うなずき…。
様々な「声」を大切にしながらつなげる学校に

(3) ポジティブ教育で、5つの力UP！

「みんなってすごい！でも、自分もすごい！」
自己肯定感や思いやりを育てる集団づくり

(1) 自分たちの課題を解決する。その過程を、自分たちの言葉で語る
学校生活での課題に自分たちで気づき、考えて決め、実行し、自分たちの
言葉で語る松本っ子に6年間かけてなることを目指し、5つの力をつける
時間と場を保証する。「松本フェスティバル」を、つけた力を発揮する場
とする。将来の「自己選択・自己決定」の力につなげる。

(2) 全教科・領域をつないで力をつける教育活動の展開

生活科・総合的な学習と全教科・領域をつなぎ(カリマネ)、「全ての教育
活動で総合的に力をつける」展開で、学習効果の最大化を図る。

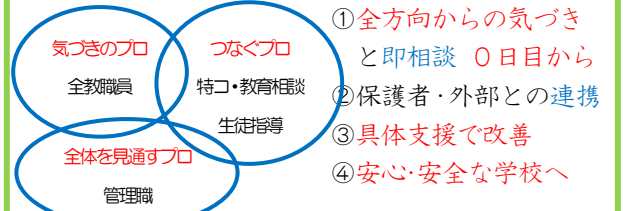
(3) 研究4部会がめあてをもって立ち、ともにつながり合って果たす、教育活動の展開



数値目標

- 自分を大切に、ともに取り組んでいる児童95%以上
- 特活・生活総合・行事などで場を保証した教師100%
- 自分たちの課題に気づいたり、取り組んだりしている児童93%以上
- 児童につけたい5つの力を意識して、教育活動を提案・計画・実践した教師100%
- 将来の夢や目標をもっている児童90%以上
- 郷土福井の松本を大切にしたいと思う児童95%以上
- 自分にはよいところがあると答える児童90%以上
- 全教育活動とつなぐキャリア教育に力を入れている教師100%
- 児童がふるさと松本とつながりをもつ教育活動に、意欲的に取り組んでいる教師100%

(1) チーム共有と対応で児童を必要な支援に繋ぐ



- ① 全方向からの気づきと即相談 0日目から
 - ② 保護者・外部との連携
 - ③ 具体支援で改善
 - ④ 安心・安全な学校へ
- ・教科担任制を全学年実施 「みんなで具体支援を」
(2) 児童・PTA・地域と共に「学校安全」を考える
・避難訓練等の安全教育を保護者に公開する。
(3) 松本小の魅力発信 ～学校だより・HP等で～

- 学校が楽しいと答える児童94%以上
- 学校の考えが適切に伝えられ、教育目標や児童につけたい力について理解した保護者92%以上
- 学校全体で児童理解・支援につなげたと考える教師100%